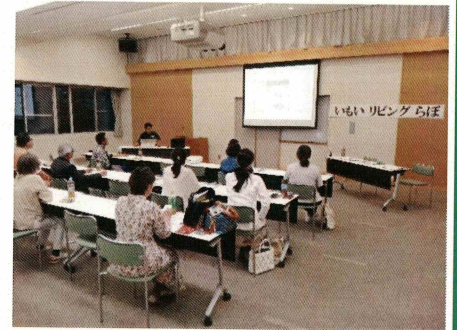


いもいりビングらぼ

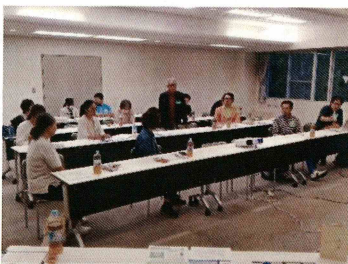
芋井地区住民自治協議会

3つの「やりたい企画」を提案 アイデアと思いを出しあう

5月24日(金)18時半からアソビーバナガノパークで開いた2024年度1回目の「いもいりビングらぼ」。はじめての参加を含む18名が、提案された3つの「やりたい企画」に分かれて、実現に向けたアイデアや思いなどを話しました。



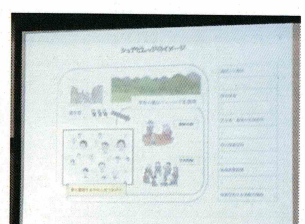
提案を聞きながら「どれをいっしょにやりたいか」を考えた参加者たち



自己紹介には「直近で買ったもの」を添えて。季節柄、農作業に関するものが多くありました。

提案された3つの「やりたいこと企画」

1. シェアビレッジ「芋井を第二の故郷に」プロジェクト:岸 豊さん
2. ワタシ流農的暮らしのススメ:上嶋 ひとみさん
3. いもい地域新聞の発行:村田 恵美子さん



「いもいりビングらぼ」って？

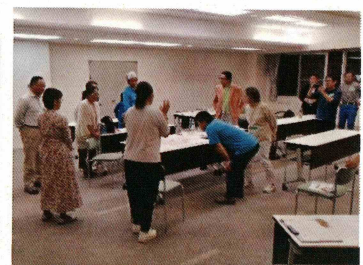
芋井地区住民自治協議会に特定非営利活動法人長野県 NPO センターが協力して 2021 年にスタートした多様な視点で持続可能な地域を探る場。

地区内外の住民と地区で事業活動を行う団体などがいっしょに、芋井地区を将来にわたって暮らしやすい環境にするために必要なことを、学び、話し合い、「やりたいこと・やれること」を持ち寄って協働することで、住民主体の地域づくりを考えています。

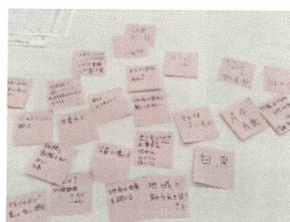
今年度から3年間、環境省の「地域循環共生圏づくり」事業の一環として、将来の地域ビジョンや持続可能な事業の素案づくりなどにも取り組みます。

グループに分かれてアイデア出し

3名の提案を受けて、参加者は「いっしょにやってみたい」と思った企画のテーブルへ移動。グループ内で話をしながら、アイデアや思いなどを自由に付箋へ書き出しました。



3つのテーブルをまわって書き出された付箋を見ながら、印象的な意見や実現に向けたアイデアなどを聞きました。



次回は、8月23日(金)18時半からアソビーバナガノパークで。

参加は誰でも大歓迎。お知り合い、ご近所、ご家族を誘ってご参加ください。